



園だより

令和7年3月1日

厳しい寒さからようやく穏やかな陽ざしを感じられるようになり、暖かい春ももうすぐそこまできている予感がします。

さて、早いもので今年度も最後の月となり、卒園・進級まであと1か月。嬉しさと寂しさが入り混じったカウントダウンが始まりました。4月当初の子どもたちの姿を思うと、この1年でたくさんの経験を通し、心も体も本当に大きく成長しました。年度末で気忙しくなりがちですが、それぞれの成長を認め、励ましながら1日1日を大切に、楽しく過ごしていきたいと思えます。

保護者の皆さまには温かいご協力とご理解をいただき、ありがとうございました。

～ 3月の目標 ～



- ・お友だちを互いに信頼し合い、仲間意識を高める。
- ・進学、進級にむけて衣服の着脱、整理整頓、挨拶など自分の事は積極的に自分でできるようにする。

「木育」という言葉を聞かれたことはありますか？プラスチックを使った製品ではなく、木でできたおもちゃやお皿などを育児に取り入れる「木育」が今注目されています。

実際に園でも、『カプラ（ワンサイズの板を積み重ねて、建物や乗り物などが作れる木製の板）』や『スロープトイ（ボールや車、コマなどをスロープ（斜面）に転がして遊ぶおもちゃ）』『おままごと』など子どもたちはたくさん木製のおもちゃで遊んだり、お散歩で木の実や木の枝を拾って制作をしたりしています。

木のおもちゃの知育効果

●五感を刺激し集中力を育んでくれる

触ったときの柔らかさや温もりだけでなく、木独特のにおいや木目の美しさ、おもちゃ同士をぶつけ合ったときなどのまろやかな音など、五感を刺激してくれます。また、感覚的に心地よく、好奇心や興味を妨げずに長く遊ぶことができるため、集中力が育まれる効果も…。

大人になると視覚や聴覚が主になっていきますが、子どもの頃はにおいを嗅いだり舐めたり、五感を駆使しています。だからこそ、この時期に五感を働かせるものに出会って、発達させていくことが大切です。

●子どもの想像力を刺激する

木のおもちゃはデザインがシンプルなゆえ遊び方が限定されず、子どもの想像力を刺激することができます。子どもの想像力は、私たちが思う以上に豊かです。遊び方が固定されていないおもちゃを与えて子どもに自由な発想で遊ばせてあげましょう。

ゆり組が園外保育で行った亀岡のサンガスタジアム京セラ内にある『KIRI no KO』には、木製の遊具があり、体を思いっきり動かすことができます。ハイハイをする赤ちゃんも安心して遊べるエリアがありますので、ぜひご家族で行ってみてください。